

GALAXY (Cスマートフォン) で ロシア語辞典の使用ができるシステムの構築

1. 初めに

著者は、ロシア語に興味を持ち、長年にわたって、仕事のこともあり、多くは夏休みを利用した短期間であったが、ロシアで語学の研修を続けてきていた。現在は定年退職の身である。ロシアへの渡航の際には、語学研修のためなので、何冊かの辞典を携帯することが必須であった。また、インターネットの普及と共に、ノートパソコンの持参も必須となった。ノートパソコンには大小あるが、使いやすさ・画面の見やすさから、大きい方を選択していた。辞書とパソコン、これで5kg以上もある。トランク本体も5kg位はあるか。国際線のエコノミーでは手荷物は20kg迄無料である。残りの余裕は10kgほどしかない。

2008年当時、デジタルカメラで撮影した写真を、パソコン画面でアルバムの如く見ることができると知った。風景の写真が使用できるならば、風景として辞書の画面を取り込めば、パソコンの画面上で、紙の辞典の如く、それを閲覧することができるであろうと考え、参考文献(1)、(2)で紹介しているソフトを開発した。インターネットもできるパソコン内に、辞書を収めたわけである。紙の辞典の重さから解放されることができると。

今年の2014年も、6月から3ヶ月の研修の予定を立てた。それに先だって、今まで使用中の「旧式」の携帯電話を、最新のスマートフォンとかの物に更新することにした。最近の携帯電話などの詳細には、著者は全く疎い。今までの契約先であった、NTT docomoの販売店の店員の案内に従って、比較的画面の大きな、「GALAXY Note 3 SC-01F」を購入した。

購入した本体の一部には「NTT docomo」の文字の印字。が、スイッチを入れると、画面には何故か「SAMSUNG」(韓国の企業の英語版の商標)の文字が? GALAXYの文字は何処にも見えない。はてなと思ひ、本体の治まっている梱包用の紙ケースを見ると、「SC-01F」の文字がある。「SAMSUNG GALAXY Note 3」の表題もある。ケース内に入っていたクイックスタートガイドには、本体は「SC-01F」であるとの明記があった。商品などには、分かり易く、区別のつく呼称があるのが普通である。一体、購入したこの「インターネット機能、電話機能を持った携帯パソコン」の名前は何かであろうか? 良く分からない。

しかし、購入した「携帯装置」は、世界的に利用されている携帯電話システムの1つである「スマートフォン(=スマホ)」の1機種らしい。スマートフォンと本論文で呼称するのは、同系統の他の機種と混同される恐れがある。と言っても、本論文で、この装置を、明記されている本体名の「SC-01F」と呼称するのは、無味乾燥で、何かロボット名のように気に入らない。他では使われていないようなので、「GALAXY」と呼称するのが良さそうである。

このGALAXYに、参考文献(1)、(2)で紹介しているUSBメモリ内の辞書フォルダをインストールすることができた。また、スマートフォンで使用できるという、フォルダ・ファイルの検索・閲覧ソフトで、かつ、フリーソフトである「GSエクスプローラ」もインストールすることができた。その結果、参考文献(1)、(2)で紹介しているのと”ほぼ”同じように、GALAXYの表示画面で辞典の検索閲覧ができるようになった。GALAXYにはインターネット機能があるので、インターネットのために持参していたノートパソコンからも開放されることにもなる。つまり、ポケットに収まるGALAXYはインターネット端末としてだけではなく、辞書としても使用できるようになった。

近年では、スマートフォン等を常時携帯するのが、生活風習となっている。GALAXYにロシア語辞典をインストールすることができたことにより、ロシアへの留学・研修、その他仕事などで、今までのような辞典とノートパソコンの持参から完全に開放される環境を作ることができた。因みに、今回の留学においては、紙の辞典類は持参していない。が、少しの不安、バックアップ用、留学時には語学以外の仕事もあったので、そのし易さのことを考えて、ノートパソコンは持参した。かつては、ロシア市内に出かける時には、辞書類を鞆に入れていた。が、今回は、GALAXYを持っているので、完全に開放された。鞆も軽くなった。

以下で、GALAXY(スマートフォン等)で、ロシア語辞典の検索・閲覧ができる方法を解説して

いく。が、理解をし易くするために、次節で、抜粋で、参考文献(1)、(2)の内容を紹介する。

GALAXYにロシア語辞典類をインストールできたことにより、語学留学における、嵩張る物、重い物から解放されたことは、本当に至便である。GALAXYはポケットに収まっている。授業だけではなく、市内、その他で、未知単語等を調べる際には、驚くほど至便でもあった。また、ウラジオストク市内でも、年々、Wi-Fi ネット環境が整ってきており、大学、カフェ、レストラン等でのインターネット使用も至便となってきた。

2. 参考文献(1)、(2)からの抜粋

以下の内容については、参考文献(1)、(2)をダウンロードして読んだ方が良い。



図1 パソコンに納めた研究社の露和辞典、和露辞典。2冊で約4000頁。と、それらのページ内容を写真として納めたUSBメモリ。参考文献(1)、(2)参照。

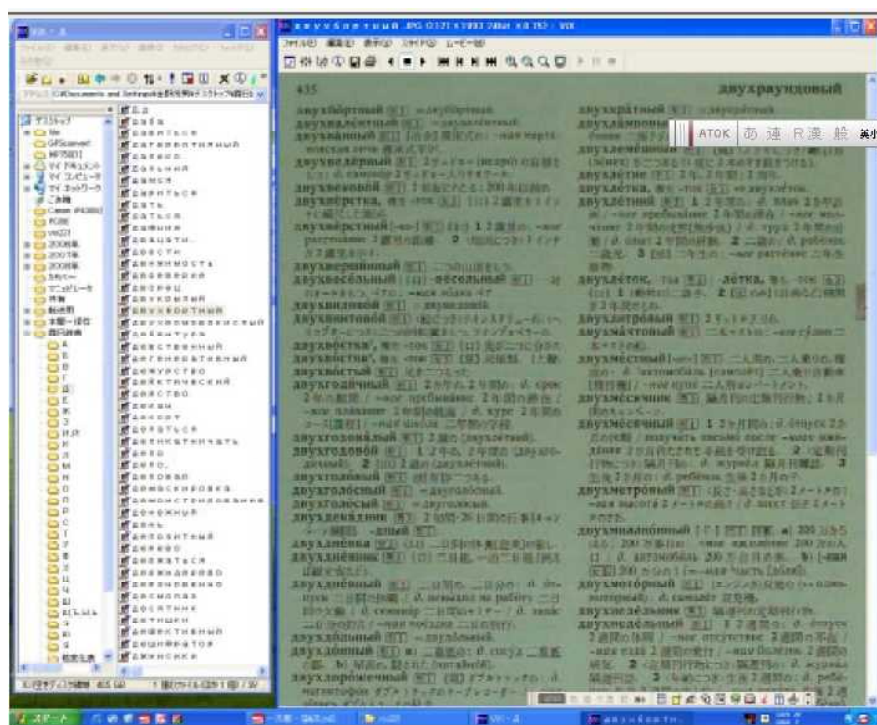


図2 ディスクトップパソコンでの実行中における表示画面の一つ。左端のウィンドウ内には、辞典の目次のページが。中央全体のウィンドウには1つのページが表示されている。これも、参考文献(1)、(2)を参照のこと。

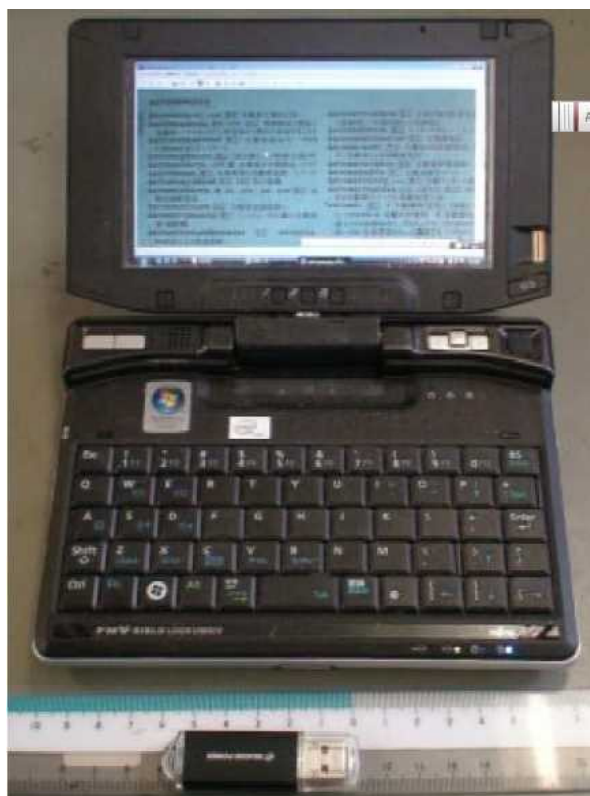


図3 モービル・パソコンでの実行中における表示画面の一つ。表示画面は当然狭いが、表示内容はデスクトップの場合と変わることはない。これも、参考文献(1)、(2)を参照のこと。ただ、今では信じられないかもしれないが、6年以上前に購入した、このモービルパソコンの充電電池は3時間と持たない。使用においては、語学の授業は90分が連続2コマであったので、ギリギリであった。実際において、充電電池が持たないので、授業にだけ使用し、市街外出時には殆ど使用することはなかった。また、モービル型と言っても、携帯電話と比較すると、結構重く、嵩張りもしていたし、鞆からの出し入れも結構面倒なので。

2. GALAXYへのソフト類のインストール

GALAXYを購入したが、それに付属している説明書だけでは、使用に支障があったので、本屋で「スマートホン」の解説書を購入した。この解説書中で、スマートホンでフォルダ・ファイルの検索・閲覧ができる自由ソフト「ESエクスプローラ」が、一般公開され、無償でダウンロードできることを知った。

「エクスプローラ」はマイクロソフト社のWindowsで、フォルダやファイルを検索・閲覧できるソフトである。参考文献(1)、(2)では、このエクスプローラを手本に開発された、写真のフォルダやファイルを検索・閲覧できる、自由ソフトの「Vix221」をダウンロードして使用した。従って、単語「エクスプローラ」を持っている、このESエクスプローラを使用すれば、参考文献(1)、(2)と同じように、スマートフォンの1機種であるGALAXYで、辞典内容を写真化して作成したフォルダ・ファイルの検索・閲覧ができるであろうと考えた。結果として目的を達成することができた。

本システムの構築は以下の手順で行った。

(1) GALAXYに、ESエクスプローラをインストールする。

著者は、まず、デスクトップパソコンに、サイト⁽³⁾から、インターネットを経由し、ESエクスプローラをダウンロードした。その後、USB端子間で、デスクトップパソコンとGALAXYを接続し、デスクトップパソコンに納めたESエクスプローラを、GALAXYにアップロードした。ア

アップロードが成功すると、GALAXYのホーム画面中にESエクスプローラのアイコン「ES」(フォルダ名 ESファイル・・・)が表示される。図4参照。使用に当たっては、このアイコンをクリックすることになる。

(2) GALAXYに、参考文献(1)、(2)で紹介しているUSBメモリ内に治まっている辞書フォルダをインストールする。USBメモリ内にはVix221のフォルダも入っているが、今回は不要である。

著者の場合、USBメモリ内の辞書フォルダは、デスクトップパソコン内に既にインストールされていたので、ESエクスプローラのアップロードの場合と同様にして、GALAXYにアップロードした。アップロード先は、GALAXYに前もって置かれている「Pictures」フォルダ内に納めてしまった。辞書フォルダ内のファイルは「写真」なので、安易にそうしてしまったが、問題はない。別にフォルダを作成して、それに納める方法もあろう。

ESエクスプローラ・ソフトの実行は、図4～図9の順で行えばよい。

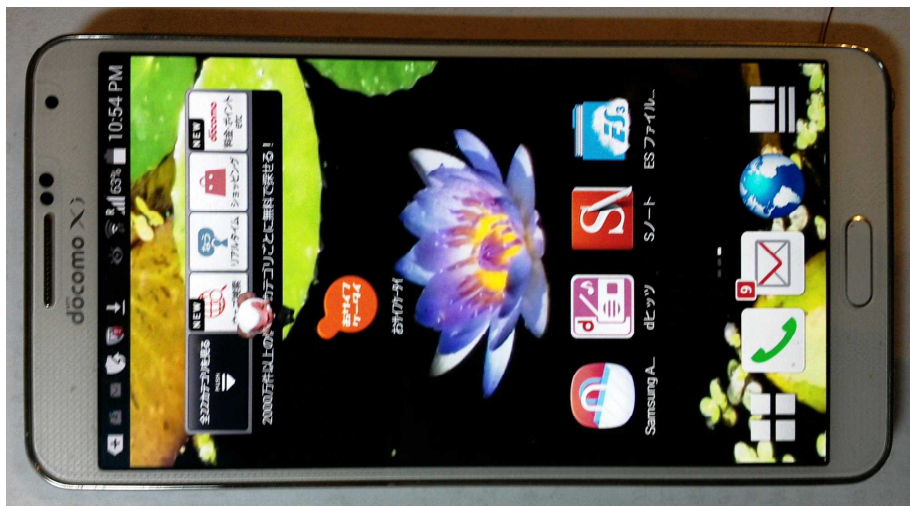


図4 ESエクスプローラのインストール後での、GALAXYのホーム画面の内の一つ。新しく現れたアイコン「ES」を押すと、次の画面となる。

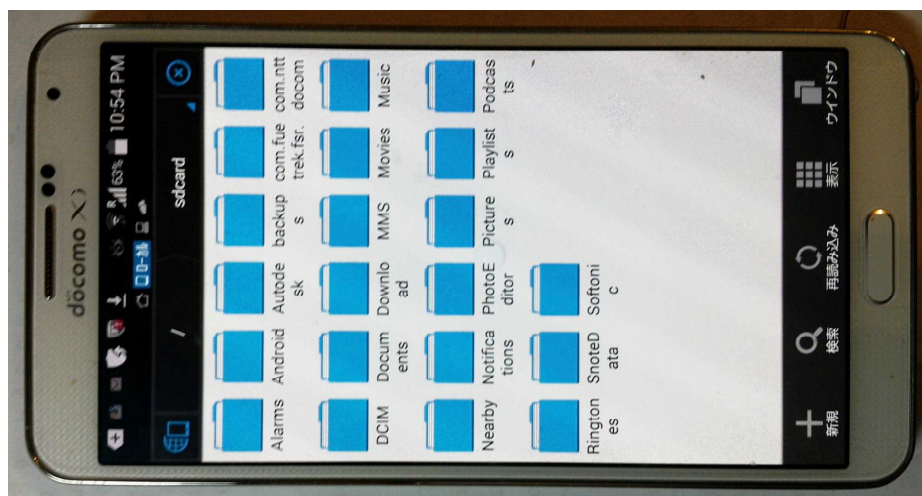


図5 GALAXY内の全フォルダが表示される。辞書ファイルを納めているフォルダ「P i c t u r e s」のアイコンを押すと、次の画面となる。

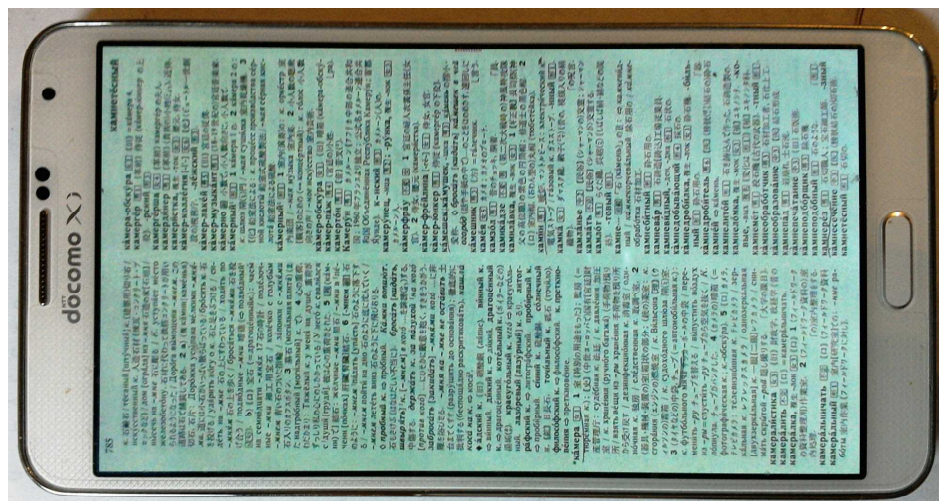


図9 画面はタッチパネルなので、画面上でのページの左右上下移動、拡大縮小、ページ送り等は、通常通りである。

3. 終わりに

著者は、既に紹介しているとおり、大分前に、研究社の露和辞典と和露辞典を、パソコン画面で検索・閲覧検索ができるソフトを作り上げた。ソフト用データは、辞書のページをデジタルカメラで撮影して、画像データとしたものである。その後、ロシア国内の出版社の和露辞典⁽⁴⁾と露和辞典⁽⁵⁾も画像データとした。これら後半の2冊は、バー・スキャナーでページをなぞって画像データとしたものである。画面表示されるページの解像度は、デジタルカメラ、バー・スキャナーの各々の固有解像度にも依存しよう。が、結果として、バー・スキャナーで取り込んだ画像の方が結構見劣りがした。デジタルカメラと違って、バー・スキャナーでは、ページ上を手動で、一様・等速にバー・スキャナーを動かす必要がある。この「一様・等速」が結構難しいのである。更には、ページの端から端までの確実な移動も。そのため、得られたページの画像データは結構見栄えがするのあれば、全体的にページが歪んでいたりと、部分的にはあるが、文字・文章の読み出しができない場合もあった。これらだけの比較であるが、ページの画像データとしての取り込み方法としては、デジタルカメラの方が良さそうである。

今後であるが、ロシア人の先生方の推薦辞書として、著名なロシア語辞典（露－露辞典）がある。エジェコフのもの⁽⁶⁾である。これを画像データとして取り込みたいと考えている。

日本で出版されているロシア語関係辞書は、編纂されてから数十年以上も経っている。未だに、辞書の改訂、或いは新編纂の噂を耳にすることはない。1990年代のロシアの大変革と共に、ロシア語には新単語等が溢れかえってきている。ロシア国内では、それら新語などに関する辞書類は、それ程遅れることなく出版されている。日本での出版が期待を持ってないので、ロシア版である、これらの辞書類もやるかもしれない。

なを、手持ちのGALAXYの内蔵メモリ量は30GB以上。納めた4冊の辞書の占有メモリ量は4GB程度か。メモリは有り余っている。

この論文においても、参考文献(1)、(2)においても、最も重要なのは辞書の頁を画像として取り込んだフォルダ・ファイル・データである。著者はUSBメモリその他に納めている。時の流れを考え、出版社の方が、辞書本体に付属させて、このようなデータ・ソフトも提供してくれるとありがたいのは、著者だけではないと思うが。

参考文献

(1) 「露和辞典の「辞典デジ画化ソフト」の制作」、金野茂男、小山高等工業専門学校電子制御工学科、2008年5月本校の本人ホームページで公開、2008年7月修正、
2014年4月以降URL <http://kinno-homepage.sakura.ne.jp> で公開。

(2) 「和露辞典の「辞典デジ画化ソフト」の制作－ロシア語辞典のデジタル画像化ソフトの製作の第2報」、金野茂男、小山高等工業専門学校電子制御工学科、2008年6月本校の本人ホームページで公開。

2014年4月以降URL <http://kinno-homepage.sakura.ne.jp>

(3) URL <http://es-file-explorer.softnic.jp>

(4) 「Большой Русско-Японский Словаль」、Зарубин、Рожецкин、Москва、Издательство「Живой Язык」、2010г、900с。

(5) 「Современный Японско-Русский Словаль」、Лаврентьев、Немзер、、、Москва、Издательство「Живой Язык」、2007г、700с。

(6) 「Толковый Словарь Русского Языка」、Ожегов、Москва「Мир и Образование」、2014г、740с。

著者の現在のURL <http://kinno-homepage.sakura.ne.jp>

2014年8月24日 ウラジオストックにて